

2009年度

科目名	地誌学			
担当教員	阪野 祐介			
配当	教福3		コード	45041
開期	通年	講時	木曜日5限	単位数 4
授業テーマ	人びとの暮らしと地域・環境・文化の記述			
目的と概要	地誌学は、地域の姿を記述することを目的とする学問である。講義では、日本を含めた世界の国や地域を事例として取り上げ、図表、映像などを用いながら世界のさまざまな文化や地域問題について考える。そのなかで実際に、統計や地図などの資料の解説、作成、分析をおこなう。つまり、統計や地図などの資料解説、分析および図表の作成方法を習得と、地域性の「発見」、「分析／解釈」、「記述」する力を身につけることが目的となる。			
成績評価法	期末レポートおよび平常点(授業態度・ミニレポート)により知識の理解度や応用力を評価する。 期末レポート(60%)＋平常点(40点)			
テキスト	特に指定しない。			
参考書	授業内において、適宜プリントの配布および参考文献の紹介をする。			
履修に当たっての注意・助言				
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション:地誌学の方法論と基本概念</li> <li>2. 地域の調べ方1:基本的な調査・分析方法の理解</li> <li>3. 地域の調べ方2:統計や地図の読み方</li> <li>4. 地域の調べ方3:図表の作り方</li> <li>5. 地図からみる世界のつながりと地域性</li> <li>6. 日本と世界(世界とのつながりを知る)</li> <li>7. 日本と世界(日本の中の多様性)</li> <li>8. 韓国の地誌(1) 韓国の伝統文化と現代社会を知る。</li> <li>9. 韓国の地誌(2) 韓国と日本との関係について歴史的・現代的状況を知る。</li> <li>10. 中国の地誌(1) 中国の自然・産業・社会の状況を知る。</li> <li>11. 中国の地誌(2) 中国における多民族社会。</li> <li>12. 中国の地誌(3) 中国と移民。</li> <li>13. インドの地誌(1) 近代化・グローバル化とインドの都市と農村の展開と変容について考える。</li> <li>14. インドの地誌(2) インドと日本の関係を身近なところから見つけ出そう。</li> <li>15. まとめ(1)</li> <li>16. 東南アジアの地誌(1) インドネシアの政治と文化。</li> <li>17. 東南アジアの地誌(2) インドネシアの文化と観光。</li> <li>18. 中東の地誌(1) 世界の石油エネルギー産出の中心としての中東と西洋。</li> <li>19. 中東の地誌(2) 宗教(イスラム教)からみた中東地域。</li> <li>20. オセアニアの地誌(1) 自然環境と人びとの暮らし。</li> <li>21. オセアニアの地誌(2) 人種問題からみたオーストラリア。</li> <li>22. アメリカ合衆国の地誌(1) アメリカの産業と世界のつながり。</li> <li>23. アメリカ合衆国の地誌(2) 多様性と統一性の国アメリカ。多民族に着目する。</li> <li>24. ヨーロッパの地誌(1) EUとヨーロッパ産業。EU内の多様な地域性を考える。</li> <li>25. ヨーロッパの地誌(2) EU統合と地域的多様性。政治的・社会的・文化的背景を考える。</li> <li>26. ラテンアメリカの地誌(1) 植民地と産業の展開。植民地化は何をもたらすのか。</li> <li>27. ラテンアメリカの地誌(2) 植民地による人の移動と文化的混雑性。</li> <li>28. アフリカの地誌(1) アフリカ大陸の植民地化と西洋。</li> <li>29. アフリカの地誌(2) ポストコロニアルな状況と民族紛争。</li> <li>30. まとめ(2)</li> </ol>				